



バラの花びらに想いを印刷！
(胸のアイヒューズが販売)



YES
I DO

発行所
株式会社ヨミウリ府中
府中市鵜飼町622
発行人・森若正憲
TEL45-0015/FAX45-0016
yomiuri@yomif.jp
http://www.yomif.jp

④ 四中をダブリンからの留学犬

県内初の「ニデイベアプログラム」

第四中学校に、アイルランドから3匹の「留学犬」が来日、生徒たちの話題をさらっている。

同国の首都ダブリン市のホリーフェイス小学校からやって来たのは、パッチ、スナッチ、スクラッチのいずれも可愛いぬいぐるみ。それぞれ1年、2年、3年のクラスに編入した。

留学の目的は、パッチたちが生徒の家を順にホームステイして回り、日本の生活を毎日日記につけること。もちろん、留学犬に

なり代わって、彼らの目線で写真を撮ったり、英文日記を綴るのは生徒たち、というわけだ(下枠内参照)。

このユニークな、県内初の試みは同校英語担当の梶間真穂教諭が、生徒に英語力をつけさせようと探してきた、民間の「ニデイベアプログラム」に基づくもの。日本と海外に拠点を置く特定非

営利活動法人「グローバルプロジェクト推進機構」が仲介し、海外の学校とぬい



留学犬。左からスクラッチ、スナッチ、パッチ

スナッチのある日の日記

I saw Shiho eating Nikuman in the kitchen. It looked very nice. Dinner was syougayaki so I'm worry about the smell.

I went to bed at eleven with Shiho.
(注=山本志保さん記)

ぐるみや人形を交換留学させて、異文化交流をはかる。

梶間教諭は「ニデイベアプログラム」を見つけたのは今春。英語で書く力、表現力向上にピッタリだと思つた。それから準備を重ね、パッチたちがやって

来たのが10月10日。生徒は全員参加で日記をつけている。中には英作文に少し抵抗がある生徒もいるようだ。何これ？ かわいいいっつーところから、みんな興味を持ち始めているという。

四中からもダブリンの小学校に、折り紙などプレゼントを携えて「クマのプーさん」などのぬいぐるみが留学中で、クリスマス頃まで滞在。その後、一杯に書き込まれた日記帳を土産に、どちらもいったん帰国する予定で、生徒たちは「私たちの書いた英語が通じるかどうか、すごく楽しみ」と話している。